

知床を守り育てるまちを高らかに宣言しました

知床とともに歩む。 いままでも、これからも...

10月26日に開かれた第7回臨時町議会で、『知床を守り育てるまち宣言』が可決されました。

町の決意をあらためて明確にする

根室管内中標津町と羅臼町の合併により、来年10月に誕生する予定の新しい市の名称は、「東知床市」に決定されました。

この決定を踏まえた斜里町の対応については、先月号でお知らせしましたが、斜里町と斜里町議会は、知床は人類共有の財産であり、これからも大切に守り育てていくことが重要であるとの町の姿勢を、あらためて明確な形として内外に示すための宣言文の作成を共同で検討してきました。

そして、10月26日に開かれた臨時町議会で、知床を守り育てるまち宣言（案）が町長から提案され、原案どおり可決されました。



知床を守り育てるまち宣言

悠久の彼方から自然は、人類を慈しみ育んできた。しかし、地球は今、人類の諸活動に伴う自然破壊にあえぎ苦しんでいる。

かけがえのない、水の惑星「地球」を守るため、世界の人々は努力をはじめている。

知床は、日本の北の小さな自然。しかし、世界に連なる貴重な原生自然の地。緑の山河、青い海、白い流水は、群れる鮭たち、天空に舞うオジロワシ、威厳に満ちたヒグマなど、豊かな自然の命を支えてきた。

知床は、開拓に挑む斜里の人々を厳しくも暖かく見守ってきた。

私たちは、先人から受けついで豊かな自然に畏敬の念をもち、自然とともに生きる道を選んだ。

今、知床は世界の自然遺産としての価値が試されている。この人類共有の財産「知床」を、自信と誇りをもって、斜里町民総意のもと、知床憲章の精神に則り、未来永劫、大切に守り育てることを宣言する。

平成16年10月26日

斜里町

斜里町史 第三巻が

発行されました。

昭和30年に発行された斜里町史第一巻、昭和45年発行の第二巻に続く斜里町史第三巻が完成しました。

斜里町史第三巻は、平成10年の開基120年、町制施行60周年記念事業として編さんが始められました。

構成は、一、二巻に取り上げられていない自然編を新たに加え、文化編は原則として第一巻以降の続史を基本に編さんされています。

発行日は11月3日、文化の日。1千部の限定発行となります。

執筆者
自然編・文化編先史 知床博物館学芸員
文化編 豊岡 豊

価格 7千円（町民は3千500円、ただし平成18年3月31日まで、お一人様1冊に限りです）

CDROMもあります。価格 1千500円。
問い合わせ 企画総務課総務係（内線205）

【編集】斜里町史第三巻
編さん委員会

【発行】斜里町

【体裁】

B5判

一、二四二頁

上製本

ケース入り

【文化編】

第一章 先史

第二章 行政史

第三章 産業経済史

第四章 教育史

第五章 生活史

第六章 宗教

第七章 国内・国際交流

第八章 自然保護

目次

【自然編】
第一章 地誌

